

丸紅が業績を下方修正 直ちに格付への影響はないが、今後の財務改善の進捗に注目

以下は、丸紅株式会社（証券コード：8002）の業績下方修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 本日、当社は 20/3 期業績見通しの下方修正を発表した。最終利益の予想は 2,000 億円の黒字から 1,900 億円の赤字になる。下方修正の主な要因は、減損など一過性の損失増加が 3,700 億円、実態純利益（純利益から一過性要因を控除した利益）の減少が 200 億円である。資本合計は 19/3 期末 2 兆 717 億円が 20/3 期末 1 兆 6,400 億円程度まで減少し、同様にネット DER は 0.90 倍から 1.2 倍程度まで悪化する。減損損失が発生した背景には、新型コロナウイルス感染拡大や OPEC プラスの協調体制崩壊など外部環境の悪化が挙げられる。減損損失の主な内容は、石油ガス関連 1,450 億円、米国穀物関連 1,000 億円、チリ銅関連 600 億円などである。
- (2) 20/3 期の最終利益は大幅な赤字となり、自己資本は毀損され、財務指標は悪化する。資源関連や穀物関連の資産については過去にも損失を計上しており、ある程度リスクは低下していたとみていたが、外部環境の急速な悪化によりリスクが一気に顕在化した。実態純利益については、足元外部環境の悪化でやや弱含んではいるものの、相応の規模を確保しており、稼ぐ力は維持されている。財務内容についても一定の水準は維持している。これらの点を考慮し、格付への影響は直ちに生じないと判断した。今後、悪化した財務内容の改善状況に注目したい。

（担当）千種 裕之・本西 明久

【参考】

発行体：丸紅株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル